



海を守ろうむなかた実行委員会（読売新聞西部本社、福岡県立少年自然の家「玄海の家」、宗像市）は、8月10日（日）に「むなかた SDGs 教室」を開催します。このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人がつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

世界文化遺産「神宿る島」沖ノ島を有する宗像市。しかし、近年では海洋ごみや磯焼けなどの海の環境悪化が問題となっています。

このイベントでは、SDGsの2つの目標（「4.質の高い教育をみんなに」「14.海の豊かさを守ろう」）に沿って、児童が体験イベントを行います。海の恵みを身近に感じることで魚食の推進、環境問題への気づき、“海と沖ノ島”の歴史探求を一体的に学びます。また、当日は大学生ボランティアが子どもたちの学びをサポートします。

なお、参加者は7月1日（火）から23日（水）まで募集します。

【イベント概要】

1. 日 時 令和7年8月10日（日）9時～16時30分 ※雨天決行

<昨年実施の様子>

2. 会 場 福岡県立少年自然の家「玄海の家」

宗像市神湊 1276

3. プログラム

(1)海の恵み体験 魚さばきと魚調理体験

(2)ビーチクリーン 浜辺を楽しくキレイにしよう

(3)世界遺産セミナー 世界遺産「沖ノ島」を学ぶ講義とワークショップ

4. 定 員 宗像市とその近郊の小学校4～6年生 40人

5. 参加申込 WEB 応募フォーム (<https://forms.gle/ts27jamZsIGiBnYd9>)

6. 主 催 海を守ろうむなかた実行委員会

<イベント紹介ページ>

共催 日本財団 海と日本プロジェクト

協力 一般社団法人 Sea+SonS、むなかた大学のまち協議会、

一般社団法人アースプロジェクト福岡、株式会社ミエタ



【問い合わせ先】

宗像市秘書政策課 担当：一番ヶ瀬 TEL:0940-36-1055